

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 10 月 4 日 (2012.10.4)

【公表番号】特表 2012-502119 (P2012-502119A)

【公表日】平成 24 年 1 月 26 日 (2012.1.26)

【年通号数】公開・登録公報 2012-004

【出願番号】特願 2011-525440 (P2011-525440)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/44 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/44 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 20 日 (2012.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 3 0 】

実施例 2 1 : 比較例 1 7 対本発明による実施例 1 8、1 9 および 2 0 の接触角および 1 0 0 % モジュラス

被覆物の製造および接触角および 1 0 0 % モジュラスの決定は、実施例 1 2 に記載の通り行う。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

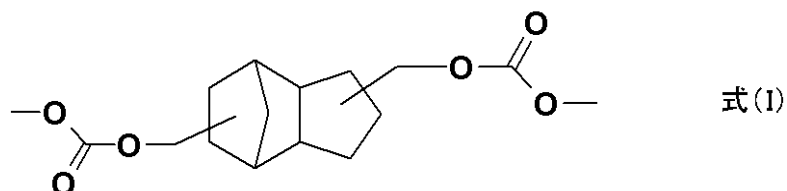
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) :

【化 1】



で示される構造単位を有し、および少なくとも 1 つのポリエチレンオキシドおよびポリプロピレンオキシドのコポリマー単位で末端化された少なくとも 1 つのポリウレタンウレアを含むポリウレタンウレア溶液。

【請求項 2】

存在するポリウレタンウレアは、イオン基またはイオノゲン性基を含まないことを特徴とする、請求項 1 に記載のポリウレタンウレア溶液。

【請求項 3】

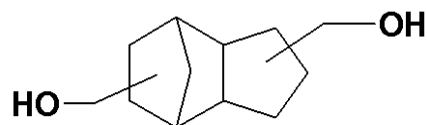
存在するポリウレタンウレアは、好ましくは 1 . 7 ~ 2 . 3 の平均ヒドロキシル官能価を有するポリカーボネートポリオール成分をベースとすることを特徴とする、請求項 1 ま

たは 2 に記載のポリウレタンウレア溶液。

【請求項 4】

ポリカーボネートポリオール成分は、炭酸誘導体と、式 (II) :

【化 2】



式(II)

で示される 2 官能性アルコールとを反応させることにより得られるポリカーボネートポリオール a 1) を有することを特徴とする、請求項 3 に記載のポリウレタンウレア溶液。

【請求項 5】

ポリカーボネートポリオール成分は、ポリカーボネートポリオール a 1) だけでなくさらなるポリカーボネートポリオール a 2) をも有することを特徴とする、請求項 4 に記載のポリウレタンウレア溶液。

【請求項 6】

ポリカーボネートポリオール a 2) は、1.7 ~ 2.3 の平均ヒドロキシル官能価および 400 ~ 6000 g/mol の OH 価により決定された分子量を有し、ヘキサン - 1, 6 - ジオール、ブタン - 1, 4 - ジオールまたはこれらの混合物をベースとする化合物であることを特徴とする、請求項 5 に記載のポリウレタンウレア溶液。

【請求項 7】

連鎖停止に用いるポリエチレンオキシドおよびポリプロピレンオキシドのコポリマー単位は、アルキレンオキシド単位の全画分を基準として少なくとも 40 mol % エチレンオキシド単位および 60 mol % 以下プロピレンオキシド単位をベースとする、500 g/mol ~ 5000 g/mol の数平均分子量を有するモノヒドロキシ官能性混合ポリアルキレンオキシドポリエーテルをベースとすることを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のポリウレタンウレア溶液。

【請求項 8】

存在するポリウレタンウレアは、ジメチルアセトアミド中において 30 で計測された 5000 ~ 100000 g/mol の数平均分子量を有することを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のポリウレタンウレア溶液。

【請求項 9】

溶媒として、ジメチルホルムアミド、N - メチルアセトアミド、テトラメチルウレア、N - メチルピロリドン、トルエン、直鎖および環式エステル、エーテル、ケトンおよびアルコールまたはこれらの混合物を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載のポリウレタンウレア溶液。

【請求項 10】

溶媒として、トルエンおよびエタノール、n - プロパノール、イソプロパノールおよび / または 1 - メトキシ - 2 - プロパノールの混合物を含むことを特徴とする、請求項 9 に記載のポリウレタンウレア溶液。

【請求項 11】

医薬活性剤を含む、請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載のポリウレタンウレア溶液。

【請求項 12】

ポリカーボネートポリオール成分 a)、少なくとも 1 つのポリイソシアネート成分 b)、少なくとも 1 つのポリオキシアルキレンエーテル成分 c)、少なくとも 1 つのジアミンおよび / またはアミノアルコール成分 d) および必要に応じてさらなるポリオール成分を互いに反応させる、請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載のポリウレタンウレア溶液の製造方法。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 1 1 のいずれかに記載のポリウレタンウレア溶液から得られるポリウレタンウレア。

【請求項 1 4】

請求項 1 3 に記載のポリウレタンウレアを用いて得られる被覆物。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載の被覆物で被覆された基材。